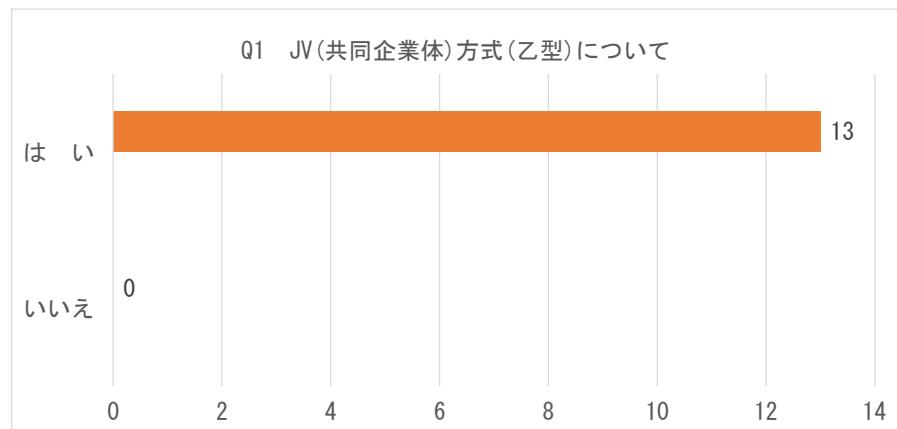


資料－1

サウンディング結果について

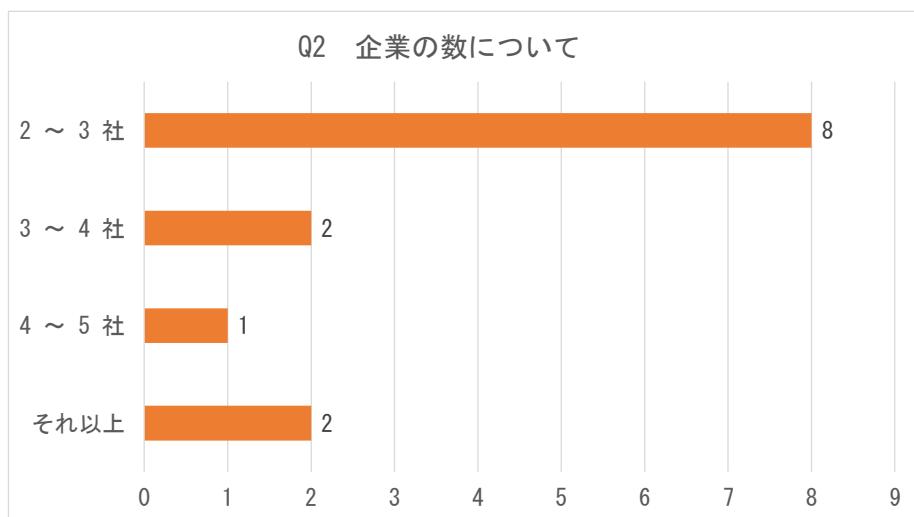
Q1. JV（共同企業体）方式（乙型）について

最終形としては、施工業者も含めた事業組合等を検討しているのですが、令和7年度はスマーリュスタートとして、JV方式を予定しております。ご賛同いただけますでしょうか。



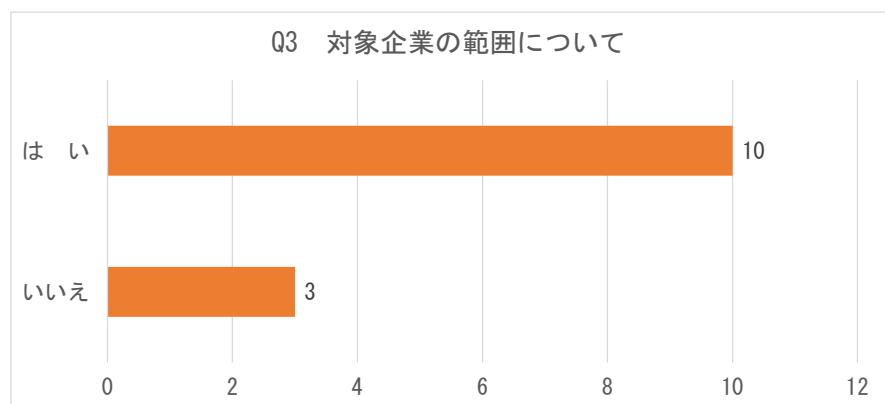
Q2. 企業体の数について

JV方式を採用した場合を仮定してご質問します。対象橋梁は70橋弱、工期は約6ヶ月を想定しておりますが、企業数は何社程度が妥当と考えますか。



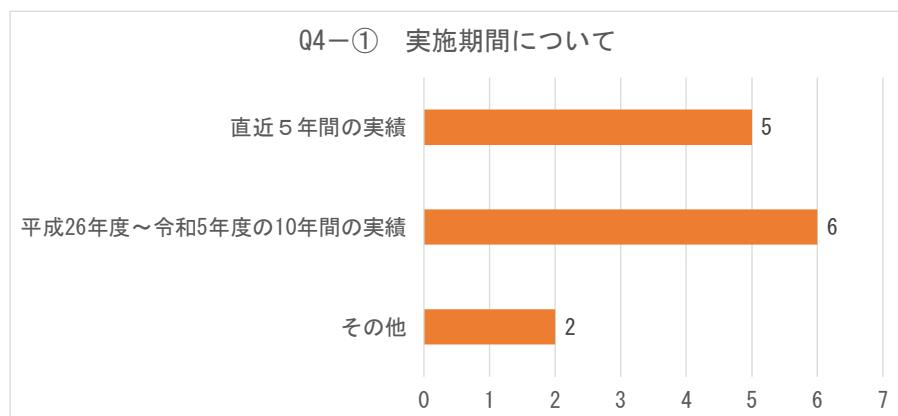
Q 3. 対象企業の範囲について

事業の継続性を考慮して、地元企業を中心とした企業を対象として想定しておりますが、ご賛同いただけますのでしょうか。



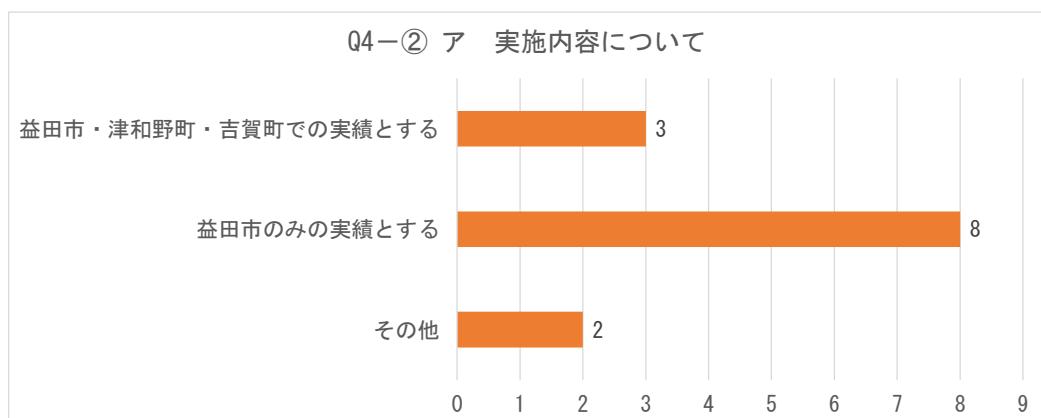
Q 4. 企業実績について

- ① これまでの橋梁点検の実績を評価対象として想定しています。そこで、対象範囲についてご意見をお聞かせください。

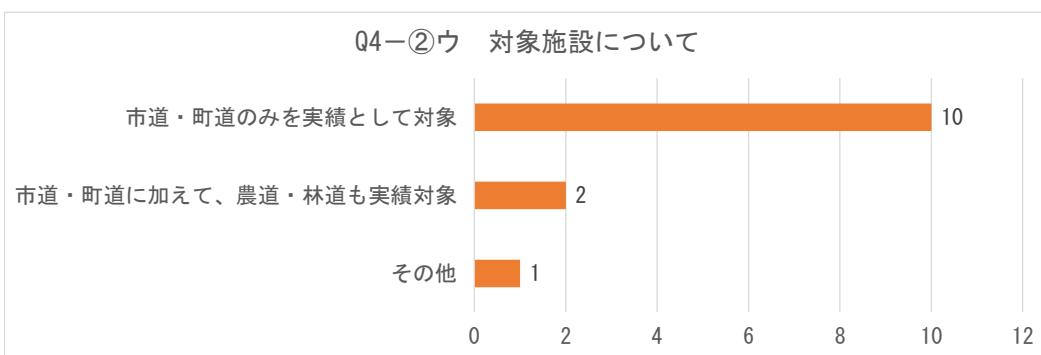
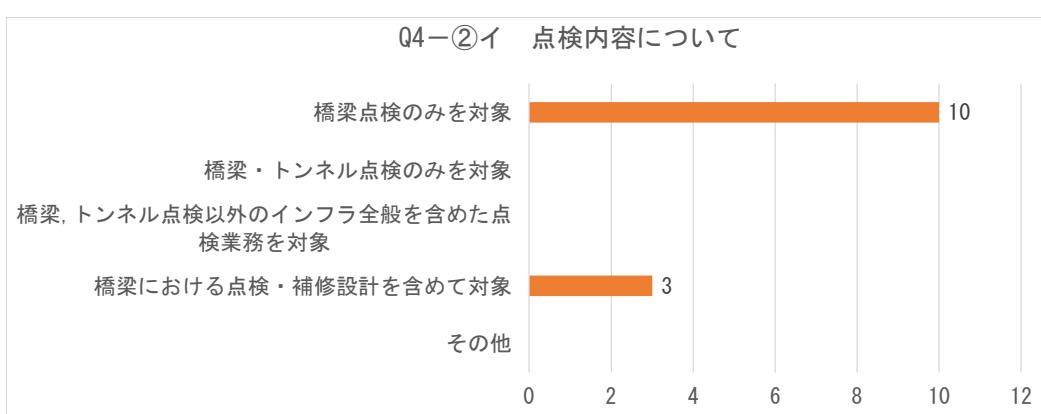


・その他については、下請けも含めた実績という意見があり

② 実施内容・点検内容・対象施設の希望について。

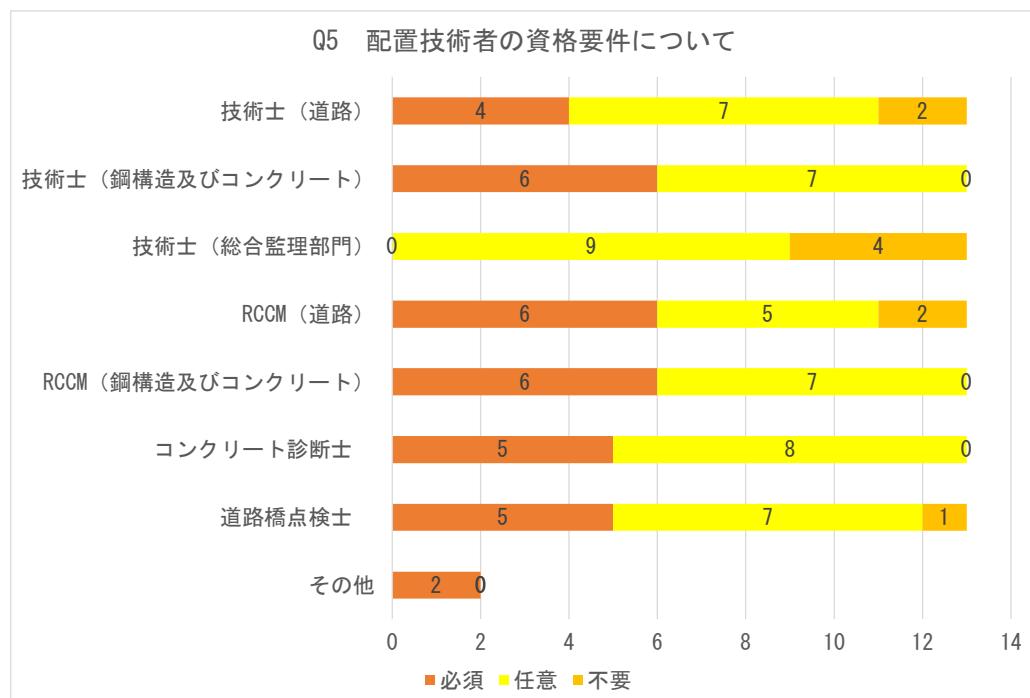


・ 他の意見として、国・県の実績という意見あり



・ 他の意見として、国道・県道も実績対象という意見あり

Q5. 配置技術者の資格要件について、必要と思われる有資格者についてご意見をお願いします。



・その他については、土木鋼構造物診断士という意見あり